【教育理念】児童の笑顔、教師の笑顔、保護者の笑顔が　魅力ある学校を作る

㋕んどういっぱい　㋔キドキいっぱい　㋖クワクいっぱい　㋗ラキラ輝く　大野木場小学校便り　№６３
令和８年１０月１５日（木）
南島原市立大野木場小学校
校　長　　森田　純弘

かどわきっ子

昨日、朝の交通指導のために玄関を出ると、何だか甘い香りが漂ってきました。そうです、玄関からピロティへ行く途中にある「金木犀」の香りです。「あぁ～、もうそんな時期だよなぁ」と季節の移ろいを実感しました。登校中の子どもたちも会話していました。「あっ、何だかいい匂い。」「あれだよ、あの木だよ。」と。今朝は、ずいぶんと気温が下がり、長袖を羽織ってくるお子さんが多かったです。運動会まであと少し、体調を崩すことなくみんなが参加できることを願っています。

運動会は目前！

９月２８日から始まった運動会の練習。６年生を中心として、応援の練習の声も響くようになりました。６年生は、自分たちがその立場になって、これまでの先輩たちがどんな苦労をしていたのかを実感しているようです。当日は、自分たちが決めた、それぞれの団のテーマのもとに、力いっぱい演技してくれることを期待しています。



紅組	白組
燃えろ（もえ）　燃えろ（もえ） 紅組魂（あかぐみだましい）	届け（とど）　言霊（ことだま）

多くの方に御来場いただき、子どもたちへ応援の声を掛けていただければ幸いです。

かどわきっ子　がんばれ～！

◆期日　　１０月１８日（日）
◆時刻　　８時４０分　入場開始

奉納相撲大会

３連休の日曜日に、深江地区の奉納相撲大会が行われました。大野木場小学校からは、６年生だけでしたが、団体戦に２チーム、個人戦に６名の児童が参加しました。

団体戦は、昨年に続いての優勝と第３位。個人戦は、Ａさんが優勝、Ｂさんが第３位という結果でした。Ａさんは、昨年は準優勝だっただけに、「今年は、優勝します！」と練習のときからやる気に満ち溢れていました。応援グッズを作って駆けつけてくれたＣさんとＤさん。６年生の仲のよさも感じられ、とても嬉しい一日でした。

参加や応援に御理解と御協力いただきました御家族の皆様に感謝申し上げます。来年も、多くの児童が出場してくれると嬉しいです。

ちょっとブレイク



今月２日に、文化庁から令和７年度の「国語に関する世論調査」結果が公表されました。本来の意味とは違った意味でとらえている自分に毎年気付かされます。

Ｑ１.「気が置けない」の意味は？
Ａ　相手に対して気配りや遠慮をしなくてよい
Ｂ　相手に対して気配りや遠慮をしなくてはならない

Ｑ２.「流れに掉さす」の意味は？
Ａ　傾向に逆らって、ある事柄の勢いを失わせるような行為をする
Ｂ　傾向に乗って、ある事柄の勢いを増すような行為をする

言葉の使い方は、時代とともに変化していきます。「気が置けない」は、４０代以上は、本来の意味を多くの方が理解していますが、３０代以下は、本来の意味とは逆のとらえ方をしていました。意味のとらえ違いは、時に正しく伝えられなくなります。

腹が立っているときに「噴飯ものだ」などというと、「失笑」されるかもしれませんね。（どちらも似た意味です）

ちなみに、学校の国語辞典を見ると、子どもたちがよく使う「煽(あお)る」には、「相手を嫌な気持ちにさせる」などという意味はありません。

（答え　Ｑ１：Ａ、Ｑ２：Ｂ）